

II 国語

正答表並びに採点上の注意

(令和四年度)

問三								
(ケ)	(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	3	1	1	2	4	3	1	4
4点	4点	4点	4点	4点	4点	2点	2点	2点

問二					
(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
3	1	4	3	4	2
4点	4点	4点	4点	4点	4点

問一								
(ウ)	(イ)				(ア)			
	d	c	b	a	d	c	b	a
2	4	2	4	1	2	3	1	3
4点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点

問五																										
(イ)	(ア)																									
<p>消費者には</p> <table border="1"> <tr> <td>不</td> <td>購</td> <td>、</td> <td>放</td> <td>う</td> </tr> <tr> <td>要</td> <td>入</td> <td>安</td> <td>さ</td> <td>心</td> </tr> <tr> <td>な</td> <td>を</td> <td>易</td> <td>な</td> <td>が</td> </tr> <tr> <td>服</td> <td>控</td> <td>に</td> <td>い</td> <td>け</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>え</td> <td>手</td> <td>よ</td> <td>る</td> </tr> </table> <p>ことが求められて いると言えます。</p>	不	購	、	放	う	要	入	安	さ	心	な	を	易	な	が	服	控	に	い	け	の	え	手	よ	る	4
不	購	、	放	う																						
要	入	安	さ	心																						
な	を	易	な	が																						
服	控	に	い	け																						
の	え	手	よ	る																						
6点	4点																									

(イ)は正答例。

問四			
(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	4	1	3
4点	4点	4点	4点

採点上の注意

【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず二点減点とする。
- 表現に問題があり、それによって明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）がある場合と、表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがって、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていない解答は誤答とする。

○ 問五(イ)について

得点項目A 内容については、次の二点に触れていること。

- (あ) 「不要な服の購入を控える」こと。
- い) 「安易に手放さないよう心がける」こと。

〈正答例〉

消費者には

必要かどうか吟味して購入し、安易に処分しないようにすることが求められていると言えます。 20 30

消費者には

不要なものは購入せず、買った衣類は大切に穿着てすぐに手放さないことが求められていると言えます。 20 30

消費者には

不要な服の購入を控えるとともに、手放す量も減らしていくことが求められていると言えます。 20 30